

平成 28 年度事務事業評価表(一般用)

事務事業名		091203 東部クリーンセンターストックマネジメント推進事業		担当部課	091200 2998-5300	東部クリーンセンター施設課		
開始年度		26 年度		終了年度		47 年度		
グループ		ストックマネジメントグループ						
事業の概要	事業の種類	自治事務		法定受託事務		法定受託 + 附加		
	分野別計画・指針	所沢市総合計画 所沢市一般廃棄物処理基本計画						
	関連・類似事業	一般廃棄物焼却施設運営管理事業(東西クリーンセンター)						
	根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律						
総合計画の体系	章	環境・自然	節	廃棄物の減量・資源の循環	基本方針	環境に配慮したごみ処理体制を維持します		
事業開始の背景	廃棄物の処理及び清掃に関する法律により、市町村は一般廃棄物の適正処理に努めなければならない。本事業は、東部クリーンセンターが稼働開始後12年を経過することから、市のごみ処理の基幹施設である当該クリーンセンターにおいて、現在の性能水準を保つため長寿命化工事を実施し延命化を図りつつ、ライフサイクルコストを低減するための技術的体系及び管理手法であるストックマネジメントを用い、基幹改良の実施及び運営費用の見直しを図るもの。							
事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)							
	焼却施設の基幹的設備の改良の実施により延命化を図り、適正な維持管理に努め、安全かつ安定した廃棄物の処理を行い、環境負荷の低減を図る。							
	対象(誰を、何を対象としているのか)		対象数	単位	平成 26 年度	2	件	
	各年度の計画等の事業実績				平成 27 年度	2	件	
事業の具体的な内容及び実施方法 東部クリーンセンターの延命化を計画・実施するにあたり、国が進める、ライフサイクルコスト(LCC)を低減するための技術的体系及び管理手法であるストックマネジメントを用いて、独自の長寿命化計画を作成し、基幹的設備改良(長寿命化)工事の実施及び運営費用の見直しを図るもの。これまでに、電気計装設備の賃貸借及びストックマネジメント計画の策定を実施している。								
平成26年度 スtockマネジメント計画策定及び電気計装設備賃貸借 電気計装設備賃貸借は平成26年度更新、支払期間は平成27年度から平成33年度まで								
平成27年度 長寿命化総合計画策定及び長期包括管理運営方針調査								
平成28年度～平成29年度 延命化工事及び長期包括運営アドバイザー業務(地域計画・要求水準書作成及び事業者選定支援)								
平成29年度～平成32年度 延命化工事・平成30年度～平成47年度 長期包括運営委託								
経費	会計種別	一般会計		平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)		
	予算現額			2,646	75,568	80,968		
	決算(見込み含む)			2,376	74,758			
	(非常勤特別職員) (臨時任用職員)	(0.00 人)	(0.00 人)	(0.00 人)	(0.00 人)	「財源内訳」について 平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。		
	正規職員人件費	1.30 人	11,337	2.65 人	22,949			
	事業費合計		13,713	97,707				
	財源内訳	一般財源	13,713	97,707	78,232			
	国・県支出金			2,736				
	その他()							
実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標	
	進捗状況	長寿命化総合計画の策定	%	0	100	0	100	
	進捗状況	長期包括管理運営方針調査	%	0	100	0	100	
	進捗状況	延命化工事及び長期包括運営アドバイザー業務	%	0	0	70%	100	
成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標	
	進捗状況	業務の執行状況	%	目標値	100	100	70	100
	実績			100	100	<input checked="" type="checkbox"/> 「実績」拡大図 <input type="checkbox"/> 「実績」縮小図		
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	100	100	どちらかをチェックしてください	
改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)				(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析			
	長寿命化総合計画の策定及び長期包括管理運営方針調査を実施する際、平成26年度に策定したストックマネジメント計画で課題とした、灰溶融炉の運営方針、東部クリーンセンターの運営方法及び延命化に係る工事費について、より詳細なライフサイクルコストを試算し検討、協議を行い、灰溶融炉の廃止及び長期包括運営委託の実施が決定した。							
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	事業実施方法(複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	安定した質の高い施設運営や用役等調達コストの削減及び施設運営の効率性の向上を図るため、延命化工事に合わせ長期包括運営委託を実施する方針となった。			
		次年度予算	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持	理由	平成29年度から実施予定の延命化工事及び平成30年度から実施予定の長期包括運営委託に係る予算について債務負担の設定を行う。			
評価	(1)平成28年度に取り組んでいる状況				(2)今後の方向性			
	長寿命化総合計画及び長期包括管理運営方針調査結果を踏まえ、延命化工事及び長期包括管理運営アドバイザー業務により、第2次地域計画の作成、延命化工事発注仕様書の作成、長期包括委託要求水準書の作成、を行う。				平成29年度に延命化工事及び長期包括運営委託を一括し契約締結する。また、事業に関する施工監理及びモニタリング業務を行う。			
	評価日	H28.8.17	評価者職氏名	課長 吉岡 庄平				
環境影響	有益な環境影響	2-3廃棄物の適正処理		有害な環境影響を及ぼす原因活動	規制を受ける環境法令等		無	
					緊急事態		無	